

令和4年度特別展

没後20年

佐々木裕久展

—闇を研ぐ、想いが舞う—

令和4年 11/19 土 ~ 令和5年 2/5 日

秋田県立近代美術館 5階展示室



佐々木裕久《鳥思考一幻視》 制作年不詳 秋田県立近代美術館蔵

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

会期中の休館日：

年末年始休館 12月29日(木)～令和5年1月2日(月)
メンテナンス休館 令和5年1月17日(火)～26日(木)

観覧料：一般500円(450円)、大学生以下無料

- ※ 高・大学生は要学生証提示
- ※ ()内は20名以上の団体及びシルバー（70歳以上）の料金
- ※ 障害者手帳、またはミライロIDご提示の方は無料（介添1名無料）
- ※ リピーター割引：本展の半券ご提示で50円引
（他の割引との併用は不可）

主 催：秋田県立近代美術館
企画協力：仙北市立角館町平福記念美術館

後 援：横手市、横手市教育委員会、秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、
毎日新聞秋田支局、読売新聞秋田支局、産経新聞社秋田支局、
河北新報社、日本経済新聞社秋田支局、横手経済新聞、
NHK秋田放送局、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、
エフエム秋田、横手かまくらFM、エフエムゆーとびあ、FMはなび

秋田県立近代美術館

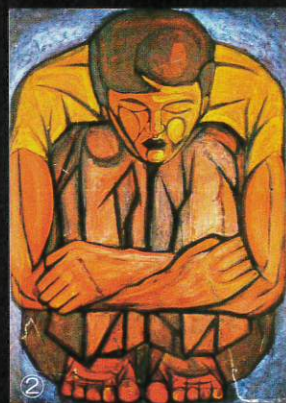
〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
TEL 0182-33-8855 FAX 0182-33-8858
E-mail akitamma@rnac.ne.jp

没後 20 年 佐々木裕久展

—闇を研ぐ、想いが舞う—

- ①《地の華—果てしなく長い夜—》1972 年
②《自画像 (1)》1964 年
③《三人の人物 (仮題)》製作年不詳
④《軌跡》1976 年
⑤《幻視考—window》1996 年

- ①②④⑤ 仙北市立角館町平福記念美術館蔵
③ 秋田県立近代美術館蔵



1942(昭和17)年樺太に生まれた佐々木裕久は、太平洋戦争終結後に引き揚げ秋田県角館町へ移住しました。多摩美術大学で日本画を学び、卒業後は新制作協会から創画会へと活躍の場を広げてゆきます。幼き日の原体験から、極寒の地における闇を想起させる深い黒にこだわり、植物や鳥、天体などをモチーフにしながら生命の根源を問いかける作品群を描き続けました。

色を重ねた画面を黒で塗りつぶし、水筆で研ぎ出すように形を洗い出してゆく描き方は、佐々木が考案した独自の技法で、その幻想的な表現は画壇の高い評価を受けています。2022年は没後20年目の節目にあたり、本展では初期から晩年に至る作品を展示し佐々木裕久の創造の軌跡を辿ってゆきます。

期間中開催のイベント

担当学芸員によるギャラリートーク：
11月20日(日)・12月18日(日)
各日とも午後2時～(30分程度)
※ 要観覧券、申込不要・参加無料

交通案内

JRとバス | JR 横手駅東口からバス「ふるさと村行き」でふるさと村下車
自 動 車 | 秋田自動車道 横手インターより3分
※車いす対応駐車場がございます。ご利用の際は美術館にお電話ください。
高速バス | 高速バス 湯沢・秋田線「横手インター入口」下車徒歩 10 分
※「横手インター入口」は、秋田行きは乗車のみ、湯沢行きは降車のみ。

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46(秋田ふるさと村内)
TEL: 0182-33-8855 FAX: 0182-33-8858
E-mail: akitamama@rnac.ne.jp Twitter: @akitamama
Website: <https://common3.pref.akita.lg.jp/kinbi/>

秋田県立近代美術館 Akita Museum of Modern Art

佐々木裕久(ささき ひろひさ)：1942-2002

1966年多摩美術大学日本画科卒業。第30回新制作展に初入選。
1967年第31回新制作展で新作家賞受賞、以後受賞を重ねる。
1971年第1回山種美術館賞展に《天と地の対話—気—》を出品。
1974年第1回創画展に入選、以後出品を重ねる。1984年、団体の枠を超えた「横の会」を結成し出品を重ねる。1987年創画会会員。

